

平成26年度 医療安全管理の取組について【概要】

－ 医療事故・医療安全の取組の報告 －

【市民病院】【脳卒中・神経脊椎センター】【みなと赤十字病院】

横浜市立3病院（市民病院、脳卒中・神経脊椎センター、みなと赤十字病院）の平成26年度における医療事故及び医療安全管理の取組について、報告がまとまりましたので公表します。

1 平成26年度中に発生した一括公表を行う医療事故の件数

『横浜市病院経営局における医療事故の公表に関する指針』6 医療事故等の公表基準（別添資料をご参照ください。）」に基づき、過失によることが明らかな医療事故（患者に重大な結果が発生した医療事故を除く。）について、年1回一括して公表するものです。平成26年度は、25年度に引き続き、該当する案件はありませんでした。

	25年度	26年度	対前年度 増 減
市民病院	0件	0件	0件
脳卒中・神経脊椎センター	0件	0件	0件
みなと赤十字病院	0件	0件	0件
計	0件	0件	0件

2 インシデント報告件数

インシデントとは、医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験で、医療事故には至らなかった事例をいいます。これらのインシデント報告を分析することにより、転倒・転落や薬剤の誤飲等の医療事故を防止し、診療業務や感染防止対策などにおいて、安全管理の視点に立った業務改善を行っています。

	25年度	26年度	対前年度 増 減
市民病院	3,380件	3,295件	▲85件
脳卒中・神経脊椎センター	1,235件	1,358件	123件
みなと赤十字病院	3,266件	3,592件	326件
計	7,881件	8,245件	364件

3 主な医療安全の取組について

(1) 市民病院

① 医療安全研修の開催

医療安全研修「当院の安全対策」では、職員が勤務中常時携帯する「安全管理ポケットマニュアル」の内容を再確認し、医療安全の基本ルールを徹底するために実施しています。全職員必修としており、全ての職員が参加しています。

② 電子カルテシステムの入力画面改修

電子カルテにおいて、患者の食物アレルギー情報を医師が確実に入力し、その内容が栄養部門で把握、確認できるように、電子カルテシステムの入力画面を改修し、医師と栄養士との情報共有を進めました。

(2) 脳卒中・神経脊椎センター

① 確認行為の周知徹底

安全管理対策委員会やリスクマネジメント部会において、インシデント報告の中から、確認行為に関する事例を抽出し、対応策を報告することで、院内全体で情報を共有し、各部署においても注意喚起するよう徹底しました。

② 医療安全研修の開催方法の工夫

26年度は「マニュアル・手順書改定のポイント」等、医療安全に関するテーマについて、研修を開催しました。研修の開催回数や本研修を編集したDVDを活用したフォローアップ研修の開催数を増やすことで、当日の研修に参加できなかった職員も研修内容を理解できるよう工夫しました。その結果、研修参加率（2回以上の研修参加）を増加させることができました。

(3) みなと赤十字病院

① MESTと共同研修会の実施

MEST（院内救急サポートチーム）と医療安全推進室が共同で、実際のケースを想定した実践的な医療安全研修を開催し、急変場面での対応やコミュニケーション術を身につけるための研修を行いました。

② チューブ抜去に関する対策

気管挿管チューブなどの重要なチューブについては、抜去による患者への影響が大きいため、抜去時の即時対応マニュアルを作成し、職員への周知を図りました。また、チューブの固定方法についても検討を行い、新たな固定用具の導入を決定しました。